

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

施 設 名	高松市男女共同参画センター		
指定管理者	特定非営利活動法人たかまつ男女共同参画ネット	施設所管課等	人権・男女共同参画推進課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年)	公募・非公募の別	公募
所 在 地	高松市松島町一丁目15番1号	業務の概要	施設の管理運営 男女共同参画センター事業 学習・研修活動推進事業 情報収集・提供事業 活動・交流支援事業
施設の概要	【施設】 鉄骨造 7階建の6階部分 【職員の状況】 センター長兼事務長1人 職員5人 就労相談員3人(非常勤) 夜間管理職員2人(臨時) 事務パート2人(臨時) 【開館時間】 平日9:00～21:00 土、日祝日9:00～17:00 火、年末年始は休館		

	項目名	令和6年度	令和5年度	項目名	令和6年度	令和5年度
利用状況等	利用者数	32153 人	30884 人	施設稼働率	52.3 %	53.9 %
	学習研修事業等開催数	87 回	91 回	アンケート回収人数	309 人	353 人
	学習研修事業参加者数	1451	2027 人			
収支状況等	収入実績(指定管理料)	22042 千円	22020 千円			
	支出実績	21251 千円	21299 千円			
	精算残高(市へ返納)	0 千円	0 千円			

評価基準	評 価 項 目		指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理		・労働基準法や個人情報保護法、育児・介護休業法は各機関からの文書類は回覧している。職員一人ひとりが内容を理解できるよう、今後も周知し継続的に研修を行うように努めたい。 ・環境への配慮は、再生紙の利用、ごみの分別、適正温度での冷暖房の利用など日常的に行っている。	A
	②-1個人情報の保護・情報公開			
	②-2環境への配慮			
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性		・施設の円滑な管理運営を通じて、市民の多様なニーズに応えるよう施設事業の推進に取り組んだ。また、館全体の清掃体制の見直しもあり、利用者の安全・安心な利用環境を維持するよう清掃箇所などを職員も意識し、気配りした。 ・高齢者や子育て中の方など様々な市民の方が利用しやすいよう、公平性・多様性に配慮した。	A
	②平等な利用の確保			
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策		・貸館の利用者が減少傾向のため貸館の利用拡大を図り、予約ルールを見直し、統一したルールで受付するため、貸館のチェックシート作成にとりかかった。例年通り利用者アンケートを実施し、意見を参考に利用促進した。アンケート結果、大変良い・良いが約85%であった。 ・ホームページ・Instagramで常に最新情報をアップし、広報・リビング・新聞などで広報し、講座参加者などにもチラシ配りを行った。チラシに二次元バーコードを載せて情報を得やすいようにした。 ・就労のためのスーツの貸出など自主事業を行った。パープルBOX事業は女性支援の目的を理解してくれている人が増えてきている。 ・センターの登録団体とは常に連携がとれている。館全体での利用者増の協力体制を進めたいが他館の協力体制が得られにくい。	B
	②広報・PR対策			
	③企画事業・自主事業			
	④市・関係団体・地域等との連携			
	⑤サービス向上の取組			
	⑥相談・苦情への対応			
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等		・年度の半ばで一時、管理職が不在の時期があったが、他の職員でカバーしながら施設運営を行うことができた。突然の体調の変化などで職員が減少した場合の職員の確保はできていない。 ・研修については相談員は県の講座に参加している。国の講座にもZOOMで参加した。 ・令和6年度はNPO法人の法改正や組織の実態に合わせて定款や就業規則の見直しを行った。職員は、各自年休の取得はできている。 ・施設を健全に運営するために、開館時間の見直しを見据え利用状況のチェックを行う。 ・1事故保険金額20,000万円(1事故免責金額)の損害保険に加入。	B
	②教育・研修			
	③就業規則等の遵守			
	④施設運営の健全性の確保(経営状況の確認を含む)			
	⑤損害保険等			
	⑥収支計画と執行管理			
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費		・文房具などの消耗品で、100円ショップで対応できるものは100円ショップで購入する、コピーは白黒でできるものは白黒とするなど経費縮減に職員それぞれコスト意識を持っている。ただ物価高騰の社会情勢の中で、収入の確保が見込めず適正な人件費の支出は行えていない。	B
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点			
	③経営の効率化			
	④合理的な会計制度			

総合評価コメント			総合評価
令和5年度に引き続き、利用者からの要望や意見を反映し、施設の目的を踏まえた多彩な事業を実施しており、時世に合わせた企画や自主事業を開催する工夫が見られる。また、来館者に対する職員の丁寧な対応や、施設を清潔に保つ点など、幅広い年代の方が平等に居心地の良い空間となるように普段から取り組んでいることの成果が、利用者アンケートの満足度の高さに寄与しているものと思われる。 センター事業のPRIに関しては、Instagramなど時代に沿ったSNSを活用した情報提供に努めるとともに、引き続きインターネットを活用しない層を念頭に置いたチラシ配布等、幅広い世代に向けた利用促進対策が行われており評価できる。また、館内に、様々なイベントや啓発チラシ・ポスターを設置しており、来館を契機として、男女共同参画事業等に興味を持ってもらうための工夫がなされている。 今後も、本市の男女共同参画を推進する中核施設としての役割を発揮するとともに、複合施設としての利点を活用し、他の来館者にも併せて利用してもらえるように期待したい。			B